

第15回長浜市歴史まちづくり協議会 要点録

- 日時 平成31年2月19日(火) 13:30～15:00
- 場所 長浜市役所 3階 3-B会議室
- 出席者 大場修、岡絵理子、小川敬子、中島誠一、吉井茂人、辻野恒一、西寫照毅、松居雅人、山田昌宏、北川賀寿男(敬称略)
- 欠席者 奥貫隆、吉見静子、家森裕雄、西谷泰彦(敬称略)
- 傍聴人 0人
- 配布資料
- ・次第
 - ・資料1:認定歴史的風致維持向上計画の変更箇所 一覧
 - ・資料2:認定歴史的風致維持向上計画の変更箇所 新旧対照表
 - ・資料3:平成30年度進行管理・評価シート(案)
 - ・資料4:第2期長浜市歴史的風致維持向上計画の策定について
 - ・参考資料1:長浜市歴史まちづくり協議会委員名簿
 - ・参考資料2:長浜市歴史まちづくり協議会規則
 - ・参考資料3:長浜市情報公開条例及び附属機関等の会議の公開等に関する要綱
 - ・別冊:長浜市歴史的風致維持向上計画

○会議録

1 あいさつ

- ・市民協働部 太田学芸専門監(省略)

2 【審議事項】

(1) 長浜市歴史的風致維持向上計画の軽微変更について

(事務局)

- ・資料1～資料2に基づき説明

(副会長)

- ・計画の軽微変更に対する意見又はそれぞれの立場からの補足的な説明があれば各委員から願います。
- ・菅浦文書の国宝指定や中村家住宅が重要文化財指定された件など、国レベルの指定が増えたことは大変喜ばしいことである。

(委員)

- ・資料2 P134の市民満足度調査アンケート結果についてだが、アンケートの回収率及び歴史・伝統あるまちを選択されている率が若干減っているが、その理由等を分析したか。

(事務局)

- ・総合政策課が調査しているアンケートを引用したものであり、詳細な分析は行っていない。

(副会長)

- ・ 毎年の推移は把握しているのか。

(事務局)

- ・ データは残っているので、推移を把握することは可能だ。

(委員)

- ・ 長浜まちづくり会社では、平成 29 年に顧客アンケートを実施し、600 人から回答を得た。長浜の良い場所として今までは黒壁スクエアがトップで挙げられていたが、今回リピーターは琵琶湖岸豊公園周辺をトップに挙げている。自然豊かで落ち着いた長浜のイメージが浸透していると思われる。

(委員)

- ・ 市民目線では、観光都市としての評価より、人柄や風習、郷土愛などの地域性を選択したポイントが 2 ポイント上がっている点は評価すべきである。どの項目も下がっているのに、日常の暮らしを評価していることは、伝統的な日常を大切にしているということだ。

(副会長)

- ・ 来年度が計画の最終年度であり、最終年のアンケート調査結果が計画の最終形態として残るのか。分析結果を掲載することも検討して欲しい。

(事務局)

- ・ その辺りは、考えなければならない。評価シートに記載することも含め、他市の事例や国土交通省と協議して、記載内容を検討する。

(委員)

- ・ P133 のファサード改修のイメージ写真が、長浜市での代表例となるので、写真の入れ替えた方が良いのではないか。

(事務局)

- ・ 今回の変更は軽微変更として提案しており、写真の入れ替えは考えていない。年度評価シートで、毎年の改修工事写真を掲載している。

(副会長)

- ・ ほかにご意見がないようなので、ご指摘をいただいた内容については、事務局で一度精査し、修正等をお願いする。
- ・ では、次第の(2) 歴史的風致維持向上計画の進捗状況に移る。事務局から説明をお願いします。

(2) 長浜市歴史的風致維持向上計画の進捗状況について

(事務局)

- ・ 資料 3 に基づき説明

(副会長)

- ・ 計画の進捗状況について何か意見等あればお願いします。

(委員)

- ・ P14 の効果・影響等に関する報道で、浅井家御屋敷跡初の遺構とのタイトルがあるが、P13 の史跡小谷城跡確認調査と連動しているのか。

(事務局)

- ・ ご指摘のとおり、発掘調査を実施し、現地見学会を開催した件が報道されたものである。

(委員)

- ・連動しているのであれば、注釈表示して、関連性を明示して欲しい。

(事務局)

- ・了解した。注釈表示する。

(副会長)

- ・P14、15の報道関係資料は、新聞掲載記事のみが対象となっているのか。

(事務局)

- ・報道資料は、テレビ・インターネット・SNSなど数多くあり、報告対象は限定されていないが、本市として、この計画の進捗評価の掲載には、当初から紙面として残っており、使用許諾が得られやすい新聞記事に限定している。

(委員)

- ・P4の町家再生型まちなか居住プロジェクトについてだが、内部の家財道具はどのような形で整理しているのか。

(委員)

- ・長浜まちづくり会社が市の委託事業として実施しており、家財道具を分別し処分している。

(委員)

- ・写真にあるような水屋筆筒はどうしているのか。

(委員)

- ・このような価値ある家財道具は、鑑定して残しており、新しい居住者も使用している。

(委員)

- ・家具の再生という観点からも重要なことであり、今後も続けて欲しい。

(委員)

- ・空き家となっていた家屋を誰かが購入し、活用している事業か。

(委員)

- ・その通り。この事業は店舗併設型住居を対象としており、飲食店として内部改装工事中である。

(委員)

- ・P2の景観条例に基づく届出と屋外広告物の許可について、自主性に委ねている部分はどれか。

(事務局)

- ・屋外広告物の許可対象とならない小規模な屋外広告物について自主性に委ねている。

(副会長)

- ・他に意見、質問はないか。それでは、終了する。

3 閉会あいさつ

- ・歴史遺産課 山岡課長 (省略)